



学校だより

平成28年12月22日

横浜市立高田中学校

1月号(第28-10号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

高田の時間

校長 福田 之男

平成28年も残り9日となりました。今年度高田中学校では始業時間が10分繰り上げとなり8時30分の始業となりました。始業時間を10分早めたことにより、朝学活に続いて10分間の「高田の時間」が設定されました。

横浜市の中学校では、市の学力学習状況調査や全国学力学習状況調査などが毎年実施されていますが、この調査により学習状況や生活意識などを把握して、生徒の持っている力を更に発揮できるように授業等を工夫しています。

平成27年度の調査から、高中生は、学習や生活に対して、高い意識をもち、毎日充実した生活を送っていることがわかりますが、読書の習慣や、見たり、聞いたり、読んだりしたことから、自分の考えをまとめ、それを他の人にわかるように伝えるという力が改善されると、更に能力が発揮されることがわかりました。そのために、教科の授業や学活で先生方が指導を改善していくことはもちろんですが、毎日少しずつ継続的に先程述べた力をつける取組を行う必要があるということ、8時40分から8時50分までの「高田の時間」を設けることにしました。

この「高田の時間」では、テーマに基づき本を読み、毎日「高田の時間カード」に簡単な記録をします。1冊読み終わるごとに読書レポートの用紙にあらすじや印象に残ったこと、おすすめの場面や学んだことなどについてまとめます。9月には各学級で実物投影機を使い、読書レポートを提示しながら自分の読んだ本について級友の前で発表をしました。10月の高田祭では読書カードの展示発表をしました。現在も3階2年生教室前や2階被服室、調理室前の廊下などに展示してあります。

9月の口頭での発表では、初めての発表ということで緊張している生徒が多かったようですが、自分が得た情報に基づいてしっかりと発表することができました。高田中学校では、今後とも毎日の積み重ねを大切にしながら、集めた情報を基に、自分自身の考えなどを相手に理解できるように発信していく力を伸ばす取組を行っています。



1年生で職業講話を実施しました！

12月2日（金）、第1学年におけるキャリア教育（自分づくり教育）の一環として、職業講話を実施しました。今年度は第1部：全体講話（青年海外協力隊に参加した方によるパラオでの体験談）、第2、3部：業種別講話（警察官、消防士、薬剤師、介護福祉士、出版業、建設業、生き物コンサルタントから2コースを選択）で行い、普段ふれる機会が少ない社会人の方々の生の声を聴くことができました。

生徒達は、1学期に「自分を知る、職業について知る」学習を行い、夏休み中には「身近な人への職業インタビュー」を通して、「働くということのやりがいや大変なこと」などについて理解を深めてきました。ほとんどの生徒にとって、将来自分が就きたい職業はまだ漠然としている状況ですが、「仕事をするうえで大切なこと」や「ただお金を儲けるためだけに仕事をするのではないということ」などについて全員が何かを感じ取ることができた一日になりました。

<生徒の感想から>

- 「就職がゴールではない」という言葉を聞いて、私も終わり（ゴール）を決めないで、常にいろいろなことに興味をもって生きていきたい。
- どんな仕事でも、あきらめずに最後までやりきること、優しさと責任をもって行動すること、新しい知識を身に付けるためにも今からコツコツ勉強していくことが大切だと思った。
- 人のためや社会のためなど、何かのために一生懸命取り組む姿勢はすごく大切なことだと思った。



薬物乱用防止教育

12月16日（金）4校時に担任が講師となり、各教室で薬物乱用防止教育を行いました。薬物乱用について生徒一人ひとりに考えてもらうために養護教諭が教材開発をしました。中学生の喫煙・飲酒の問題は、昔から多くの学校の問題行動としてあげられています。今はそのような問題のない高田中ですが、全国的には法的な規制が効果を発揮しなかったり、薬物乱用による事件や検挙者が急増したりする中、ゲートウェイドラッグ（Gateway drug）として他の薬物の使用を誘導するための入り口となる喫煙・飲酒、そして薬物乱用が及ぼす心身への影響について学習をする場としました。喫煙・飲酒・薬物乱用ともに共通していることは、気持ちや生き方との関わりが大きく、心身への影響について正しく理解し、さまざまな誘惑や自分自身の甘さから手を出すことのないよう、適切な意思決定と行動選択ができるような内容としました。

1年生…「喫煙の害」

成長しつつある身体への影響と最初から喫煙をしないという生活習慣の大切さを理解するために、保健委員が「水」と「タバコの浸出液」でかいわれ大根を育て、その成長を比較し、その結果を各クラスで発表しました。

吸い始めたらかなかなかやめられないタバコに大人たちは苦勞していることや、禁煙や分煙の場所が増える中、近頃は喫煙による不利益から喫煙者を採用しない企業があったり、喫煙を規制する活動が組まれる大学も多くなったりしたことから、キャリア教育の一部とも考えています。タバコを吸うおとなを非難するのではなく、なかなかやめられないタバコを最初から吸わない人生を考え、誘われても断る勇気を持つための方法について考え、ロールプレイを行いました。



2年生…「飲酒の害」

初めての飲酒は「身近な人に誘われて…」が多いと言われています。冬休みを控え、心身への影響を確認しました。飲酒に関わる依存症の問題、ときどきニュースでも聞かれる「一気飲みの悲劇」。今回はアルコールパッチテストを行いました。自分の体質を知ることにより、大人になってお酒によるコミュニケーションがうまくとれるようになるとよいと思います。最後には「お正月に親戚のおじさんに勧められた」という設定で、ロールプレイを行いました。

3年生…「薬物乱用の害」

1学期に喫煙、飲酒、薬物に関わる保健学習を保健体育の授業の中で行いました。今回は心身への影響について復習を行い、青少年が狙われる実態を知らせながら、社会問題としての薬物乱用の影響について学びました。

高田 F e s ! 2016

11月19日(土)高田中学校 体育館において「高田 F e s ! 2016」が開催されました。「高田 F e s !」とは、高田中学校区学校・家庭・地域連携事業の一つで、高田地域ケアプラザと共催している行事です。児童・生徒と地域の方々がお互いに日頃取り組んでいることを発表し、交流する場となっています。高田中学校からは吹奏楽部がトップバッターとして登場し、日ごろの成果を披露しました。高田小学校・高田東小学校の児童も素敵な合唱や合奏を披露し、ケアプラザで活動されている地域の方々も、太極拳や踊りなどを披露してくださいました。高田小学校の発表では、高田小を卒業した本校1年生がサプライズで登場する場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。半日ではありましたが、高田地域の子どもと大人が一堂に会して素敵な時間を過ごすことができました。

